

第 9 号

川越初雁会



公演中の丸山氏

川越初雁会 春季講演会 三月一九日於同窓会会館 水科学への期待 福島第一原発の汚染水問題解決への道

講師 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

丸井 敦尚氏 (高二九九)

丸井氏は一九五八年狭山市に生まれる。川越高校を卒業後、筑波大学、カリフォルニア大学で主に水環境の保護、保全についての研究を行う。その後は立正大学地理学科助手、通産省工業技術院地質調査所を経て、二〇〇一年より現在の産業技術総合研究所で活躍中。

この間、海外も含め数々の大学で教鞭を執る傍ら、福島第一原発汚染水処理対策委員、国土交通省地下水検討委員、環境省水循環基本法及び同基本計画有識者、原子力廃棄物地層処分技術ワーキング委員、ユネスコ国際学術委員など、数々の有識者会議を歴任する。特に福島第一原発の汚染水問題について、数多くのメディアに登場し、知見を披露している。専門は地下水学と洞穴学。

● 廃炉への道 まずは汚染水対策

現在、東京電力は、福島第一原子力発電所の廃炉に向けての作業を行っており、まず、当初の廃炉計画では、二〇二〇年までに建屋のドライアップを行って、穴の開いている原子炉を補修し、循環冷却を復活させる。その後は二〇三五年ごろまでにデブリの除去を行い、二〇五〇年をめどに原子炉の撤去および建屋の解体と

第七回定期総会九月三日に開催

日時 平成二十八年九月三日(土) 午後三時開会
場所 氷川会館

(川越市宮下町二十一-13 ☎二二二八四一七)

審議事項 平成二十七年事業報告並びに決算報告

平成二十八年事業計画案並びに事業予算案

総会記念講演演題 「霞ヶ関カンツリー倶楽部よもやま話」

講師 竹間 正雄プロ(高四回)(一社)霞ヶ関カンツリー倶楽部

竹間 正雄プロ略歴

昭和二十七年川越高校卒業と同時に(一般社団法人)霞ヶ関カンツリー倶楽部入社、同三〇年プロテスト合格。テレビ解説、テレビレッスンなどに多数出演、日本プロゴルフ協会理事、埼玉プロゴルフ協会会長を歴任。二〇〇七年度日本プロス

ポーツ大賞功労賞を、日本プロゴルフ協会理事としてプロゴルフファアの地位向上に尽力し、PGA 法人格取得に貢献したとして受賞した。現在霞ヶ関カンツリー倶楽部嘱託として活躍。著書「ゴルフが突然うまくなる」主婦と生活社刊。

春季散策会

洪沢栄一記念館と妻沼聖天山



妻沼聖天山にて

ました。幕末から明治初期にかけて激動人生を歩みながら、近代経済の礎を築いただけでなく、国際交流や福祉事業等実に幅広い分野で活躍されたことが、意外と知られていないことに改めて気づきました。

また、等身大の洪沢栄一の写真が展示してありましたが、百五十四cm と小柄だったようですが、当時の日本人としては普通だったのかもしれない。続いて、妻沼に移動し斎藤別当実盛公が一七九九年に本尊聖天さまを祀ったことに創まる、宝妻沼聖天山を訪れました。見どころはやはり本殿に施されている

絢爛豪華な彫刻です。総工費十三億円をかけて行われた改修工事により、創建当時の色彩が復元されたとのことで、その見事な姿に時間を忘れて見入ってしまった。

ゴルフ同好会

優勝者 宇津木清 (高七回)



四十四名参加の日本カントリーでのコンペ

平成二十八年三月十日

(木) 越生の日本カントリークラブにて参加人数四十四人という多数の会員の皆様に参加され一日楽しいゴルフをいたしました。三月十日というのに春うららかなゴルフには最高の日でした。

私は日本カントリーのメンバーの為、どこにモグラの穴が、どこにOBがあるかもよく知っており、また同伴メンバーは七回生の同

級生で、野球の四番打者角田君、柔道の窪田君、高橋君とよく知れた仲間の為、気楽にプレーが出来た事が優勝につながった事と思います。また七回生は今年八十才となりますが、ますます元気にリハビリを兼ねたゴルフ会を年に四回、七期会ゴルフを実施しております。初雁会のゴルフコンペにも後何回参加できるかわかりませんが、頑張ってくださいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

◆事務局からのおお願い◆
年会費二千円未納の方がいらっしゃいますので、お早めに納入をお願いいたします。

事務局暫定アドレス
mailto:tasumi@asahi-net.or.jp
発行人
会長 岩堀 弘明
事務局 川越市六軒町一三三
題字 吉沢亭亭義和
印刷 (株)櫻井印刷所



講演当日の会場風景

いう予定になっておりまし

ただし、第三者機関である原子力規制委員会が「まった」をかけた

この状況を打破すべく採用したのが、「凍土壁」である

ります。これ以外の方法もいくつかあるのですが、当時の政府は一日も早くできる方法を採用せよとのこと

この凍土壁とはどんなものか、一号機から四号機の周囲を、千五百本もの凍結管を打ち込み、通電して地

より、内陸からの地下水を上位四層分の帯水層にわたって浸入を阻止することが

また汚染水を海洋へ漏らさないために、「海側遮水壁」というものも同時に建設しました。

さらなる対策として、雨水を建屋内に入れないために敷地の表面をコンクリート

で覆う工事を行っており、これを「フェーシング」と

いいます。また、「地下水バイパス」「サブドレン」と呼

ばれる敷地内の井戸を掘り、建屋内の放射性物質に

触れることなく地下水を強制的に逃がすという設備も

設けられています。こうした

働きがあります。こうした

働きがあります。こうした

働きがあります。こうした

三十五年後の二〇五〇年の日本の姿を予測すると、人口は一億人で四〇％は六五歳以上となり、気候は平均気温が一℃上昇し、降水量は十五%アップとなり、ゲリラ豪雨の多発が予想されます。

備は選択と集中が大事となることでしょう。もし今までの生活を維持したいのであれば、移民の受け入れが必須となりましょう。

以上をふまえ、水関連の

弓道部の現在

顧問 新津 雅之(高二十九回)

弓道部は記録によると昭和十五年に創部され、戦争

による中断を挟んで三十二年に再開されたようです。

昨年同期の梶田先生が出身という事で大分、弓道部

という紹介を頂きましたが、

在籍していた昭和五十年頃は前川越市弓道連盟会長の

内河先生が物理の先生として勤務され、顧問として指

導を頂きながら、普通に活動していた運動部の一つで

した。

当時は萩原先生のバレーをはじめ、陸上、軟式テニス、剣道など活躍する運動



安土踏み作業中の弓道部員

部も多かったと思います。道場も体育館の裏手にあり、弓道部の存在すら知らずに、卒業する川高生も多

くいたと思います。川越市弓道連盟とは、平成十一年の道場の新築を機に冬場に

交流を続けさせて頂いております。こうした弓道部が上を目指す

文化祭で一・二年生が「射会」の窓」という坐射を披露する企画があります

流れるように、的張りの責任

こうして重層的な対策を施すことにより、確実に汚染水の発生拡散を防ごうというわけ

ただし、現状では凍土壁に七年という時効があるため、早く次の策を講じなくてはなりません

比較的安価な鋼矢板などの従来工法で凍土壁の外側を覆うことがよいと

考えています。同時に海側遮水壁も、も

っと深くまで達するよう再工事が必要

です。(今の海側遮水壁は深さ三〇m、

帯水層上位二層分しかカバーして

いないため)

次にできてしまった汚染水の浄化についてご説明

します。現在ALPS、SARRRY、KURIIONとい

う浄化システムが稼働しております

SARRRYとKURIIONは主にセシウムを、ALPSはセシウム以外の放射性物質を除去する働き

があります。こうした働きがあります。こうした

働きがあります。こうした働きがあります。こうした

働きがあります。こうした働きがあります。こうした

川中時代の思い出

引間 弘 (中三十二回)



巨木巡りでの在りし日の引間さん

当時川越には映画館が日活系の鶴川座と、松竹系の演芸館(現在のスカラ座)が有って、白黒の映像に活動弁士が付いての映画で、日曜日の午後は鶴川座、演芸館へ度々入館しました。二時間の柔道部の稽古が終ると腹が空き、帰りは演芸館前の八百勘へ寄り、善哉一杯の味は忘れられませんが、石原町三田の団子屋でも

偶には腹ごしらえし、近くの自転車屋でサービスの油差しや空気入れ等して、川友や山村の女学生の帰りを憧れと純粹さで眺めて帰りました。小学校から男女別教室、男女席を同じうせずで、ラブレターの交流程度で交際等思いも扱らない、恋愛不毛の時代でした。大学は出たけれど、就職率十二%の就職難で、村の農家で困らない家には、東北や近隣の貧困の家から、男女の助つ人が、住み込み勤務して居た時代でした。

昭和七年の四年生の時は、古賀清志海軍中尉の犬養潔首相殺害の五・一五事件が起こり、玄洋社の総帥国粹主義運動の巨頭、頭山 満



総会で謡曲を歌われ満面の笑みの引間さん

翁が来校し、大谷徳馬校長の司会で、新講堂で全校生徒に満州国の建国等について講演が有りました。

昭和八年、五年生の時は、軍部の影響を受けた松岡洋右外相が、斎藤実首相ほか各大臣の反対を押し切って、

国際連盟を脱退して、日本の政治が軍部にコントロールされつつ、支那事件から大東亜戦争へと、進んで居た時代でした。以上、昭和四年から昭和八年の五年間の私の川中時代の記憶を記して来ましたが、

が、川越のエリート校川中へ入学し、素晴らしい先生方に恵まれて勉強し、如何なる時もエリート意識を失はず人生を歩んで来て、九十七歳まで生きられた私は幸せでした。(完)

平成二十六年一〇月

娘さん西島千恵(引間)様からのお手紙

実は父(引間稔)は一月十五日に亡くなりました。その週もいつも通りスポーツジムに母と私三人で行き、俳句の新年会も楽しみ、当日もシルバーカーを押しサミットストアで酒の肴を買いビール一缶をおいしく飲み、一時間入浴し、ベッドに入って三時間後、母が「千恵を呼んでいる。」と起こりに来たので行くと「胸が苦しい。」と言うのですが来てくれた救急車に私と乗り、病院に着く前に心臓が止まってしまいました。長年観世流に携わって

たことで、「慈観院松籟竜吟居士」と言う戒名を頂き納骨も済ませました。最近足が弱くなりましたがデカイサービスに行つて下手な麻雀やカラオケを楽しみ、週二日二時間はスポーツジムに行き、iPadに挑戦して写真を撮つてお仲間と差し上げたり、娘とスカイプでテレビ電話にトライする等、新しいことに積極的にチャレンジする姿は尊敬に値する物だったのかもしれない。

末筆ながら川越初雁会の益々のご発展をお祈り致します。

広報委員会から一言

平成二十六年から二年間に渡り連載してきた手記の最後に引間さんの訃報を掲載するとは思っていませんでした。謹んで引間さんのご冥福をお祈り致します。

雁の記

川越散策日記

新河岸駅

荒牧 澄多記

(高二十七回)

今回は、変わりゆく現代の町を訪ねてみましょう。工事が始まった新河岸駅です。

新河岸駅が開設されたのは、東上鉄道が開通した大正三年(一九一四)五月一日より一月半遅れた六月一七日のことです。東武鉄道のホームページによると最初は高階駅だったようですが、由緒ある地名ということで、翌五年に新河岸駅に改称されました。

ちなみに、東上鉄道は、東京と上州を結ぶために計画されたため、それぞれの頭文字をとって名づけられています。最初は、田面積(現川越市小ヶ谷)まで開通(この時、川越市駅(当時は川越町駅)が開設されています。今の川越駅はというと、川越西町駅として大正



昭和11年頃の新河岸駅 (川越市立図書館蔵)

上鉄道は、その後東武鉄道と合併し、現在に至ります。

新河岸駅の古写真が、今春川越市立博物館で開催された収蔵品展「モノクロームの追憶」で展示されまし

た。この写真は、昭和十一(一九三六)年頃にホームから駅舎を撮ったものである。駅舎は、木道平屋建てで瓦葺き、外壁は下見板張りで線路側にトタン葺きの小屋が見えます。その後、昭和六〇年頃に現在の姿になりました。

線路と平行に建つ改札口のある本屋、その奥に棟を直行する建物、さらにその奥にちよつと離れて小さな小屋が建っています。手前には井戸も見えます。ホームは、今と同じ島状ですが跨線橋はありません。皆様の中には、この駅舎から電車に乗って学校まで通われた方もいらっしゃるのではないでしょうか。

実は、この駅、大変微妙な立地です。駅の南側の踏切のある道は、川越五河岸といわれた上・下新河岸と川越街道を最短距離で結んでいる江戸

時代以来の道です。駅は、両者の中間地点、河岸と街道のどちらからも約一キロメートルという場所に設けられました。鉄道を敷く時に、河岸と街道側でどんな綱引きがあったのでしょうか。どちら寄りでもなく、ちょうど中間になる位置に決めたのではないのでしょうか。

ちなみに、鉄道が敷かれて駅前を押えたのは、廻船問屋でした。新河岸駅のみならず、川越駅や本川越駅等々、彼らは鉄道が舟運に取って代わるのを予見していたのでしよう。

この駅南側の踏切は、歩行者と自動車が交錯しています。子供たちの通学路にもなっていました。しかし、幅は狭く、朝夕のラッシュ時は大混乱、大変危ない踏切でした。そこで、作られたのが線路をくぐる地下道です。昭和六〇年三月に竣工しました。

この地下道の両端を飾るモザイクタイルは、一見の価値があります。河岸に近い東側は新河岸川舟運の、街道に近い西側は川越街道の古写真を基に、モノクロームから色彩を推定して制作されたものです。

また、この地下道には高階地区の中学生の壁画も飾られています。なかなかの力作です。

工事が始まった駅舎は、橋上化され待望の東口も生まれます。東西を結ぶ自由通路は長さ七〇メートル、幅六メートルで平成二九年途中に完成予定です。駅舎のデザインは、東口も西口も同じですが、和をイメージした木目調の堅格子を基調としています。

たまには、駅から歩いてみてはいかがでしょう。変貌を遂げつつある新河岸駅周辺、今の姿を目に留めておくのも悪くないかも知れません。